

## 令和5年度 社会福祉法人 玉峰会 事業報告書

令和5年度は5月にコロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたため、世間ではマスクの着用や移動制限などの対応が緩和され、一段落したような動きとなったが、医療や福祉施設では引き続きこれまで同様の十分な感染対策が行われた。しかし当法人でも6月、9月に牧水園デイサービスセンター、令和6年1月には特別養護老人ホーム牧水園でクラスターが発生し、運営に大きな支障をきたすこととなった。感染防止のため職員の抗原検査実施及び健康チェックを厳格に行うとともに、施設内消毒・換気の励行を徹底していただけない限り、残念な結果となった。

これにより利用者の受け入れを一時期停止したことや退所者が増え、空床が増加したことで収入は減少し、費用はクラスター対応による経費の負担が増大したため、予定した事業活動収益を確保できなかった。

自然災害や感染症に対応する業務継続計画（BCP）の策定が義務付けられ、事業所ごとに計画策定を行った。今後も研修、訓練を繰り返し、より安心安全な施設づくりを目指していきたい。

施設整備においては、旧棟の改修を検討していたが、人手不足や物価上昇の中で内部改修は見送ることとし、最小限の修繕に留めた。

全国的に人員不足の状況にあり、職員補充には苦慮したが、働きやすい環境を整備し離職防止や新卒者採用にも力を入れたい。

職員の資質向上については、外部研修もリモート研修で行われ、研修計画に基づき研修受講を促し、資質の向上に努めた。

デイサービス事業においてはコロナ感染の影響もあり利用者減となったが、地域住民の引きこもり防止のための送迎付き自費サービス「輪っはっは」は利用者が多く好評であり、地域の憩いの場として活力の維持に効果を発揮している。また、日向市社協と連携し実施している「買物ツアー」も移動手段の脆弱な東郷地区において効果を発揮している。今後も、地域住民のニーズに沿った介護予防事業を展開していきたい。

今年度も、コロナ感染の影響を受け法人の運営に大きな痛手を被ることとなった。これを糧に再度、感染の未然防止策や早期対応手段の徹底を図り、感染症対策に万全を期していきたい。

当法人としては、中山間地である東郷町住民において求められているニーズを模索し、法人資源を活用しながら独自の地域貢献事業を通して地域住民ができるだけ長く自立した生活が継続できるよう貢献していきたい。